運 用 報 告 書（全体版）

第２期<決算日2024年11月27日>

Ｏｎｅ円建て債券ファンドⅢ　2023−07

愛称：円結びⅢ　2023−07

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「Ｏｎｅ円建て債券ファンドⅢ 2023−07」は、2024年11月27日に第２期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2023年７月18日から2028年11月27日までです。
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的として、運用を行います。
主要投資対象	円建ての各種債券（海外で発行される円建ての債券を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	国内外の企業が発行する円建ての債券（劣後債等を含みます。）、円建てのソブリン債（国債、国際機関債、政府関係機関ならびに地方自治体が発行する債券）を主要投資対象とします。 投資する債券は、取得時においてＢＢＢ格相当以上（ＢＢＢ－も含みます。）の格付けを取得している債券、もしくはそれらと同等の信用力を有すると判断される債券を投資対象とします。 主として、当ファンドの信託期間終了前に満期償還や繰上償還が見込まれる債券に投資します。 原則として、当ファンドが投資を行う債券は満期日または繰上償還日まで保有することで、金利変動リスクを低減し、安定した利子の獲得をめざします。ただし、信用リスク、利回り向上等の観点から、満期日前または繰上償還日前に保有債券を売却する場合があります。 保有債券が信託期間中に満期償還される場合、繰上償還される場合、または償還日前に売却される場合には、信託期間終了前に満期償還や繰上償還が見込まれる別の債券に投資する場合があります。 運用にあたっては、債券の発行体の信用力、バリュエーション、流動性等に基づき投資魅力度の高い銘柄を選定しながら、分散投資によりリスクの低減を図ります。 当初設定時および償還準備に入った場合には、組入資産の流動性等を考慮して、円建てのソブリン債への組入比率を高める場合があります。
組入制限	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使、株主割当または社債権者割当により取得したものに限り行えるものとし、その投資割合は信託財産の純資産総額の10％未満とします。 外貨建資産への投資は行いません。 デリバティブ取引の利用はヘッジ目的に限定します。 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10％、合計で20％以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行うこととします。
分配方針	決算日（毎年11月27日。休業日の場合は翌営業日。）に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>
コールセンター：0120-104-694
受付時間：営業日の午前９時から午後５時まで
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社
東京都千代田区丸の内1-8-2
https://www.am-one.co.jp/

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
(設定日) 2023年7月18日	10,000	−	−	−	−	11,878
1期（2023年11月27日）	9,905	0	△1.0	97.9	−	12,267
2期（2024年11月27日）	10,090	0	1.9	98.6	−	11,864

（注1）設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
（注2）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。
（注3）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。
（注4）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

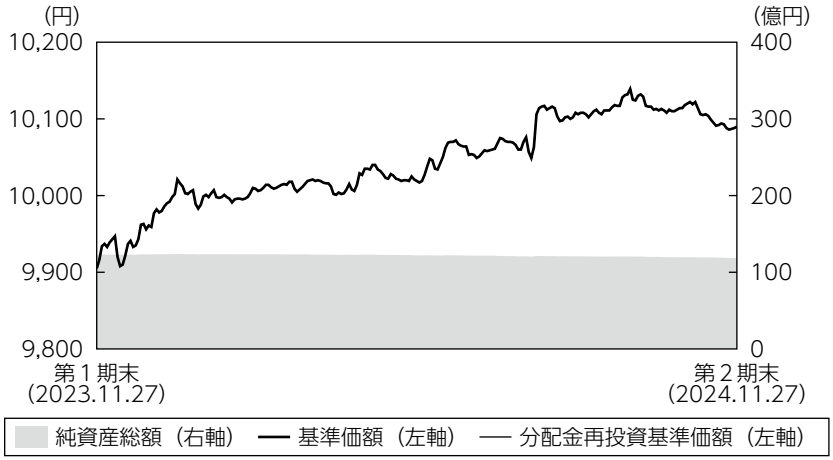
■当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率		
(期首)	円	%	%	%
2023年11月27日	9,905	−	97.9	−
11月末	9,937	0.3	97.9	−
12月末	9,978	0.7	98.0	−
2024年1月末	9,998	0.9	98.0	−
2月末	10,006	1.0	98.1	−
3月末	10,020	1.2	98.5	−
4月末	10,035	1.3	98.5	−
5月末	10,017	1.1	99.0	−
6月末	10,054	1.5	99.5	−
7月末	10,057	1.5	99.5	−
8月末	10,108	2.0	99.0	−
9月末	10,125	2.2	99.3	−
10月末	10,122	2.2	99.0	−
(期末) 2024年11月27日	10,090	1.9	98.6	−

（注1）騰落率は期首比です。
（注2）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2023年11月28日から2024年11月27日まで）

基準価額等の推移



第２期首：　9,905円
第２期末：　10,090円
（既払分配金0円）
騰　落　率：　1.9%
（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
（注４）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

日銀の大規模な金融緩和政策の転換に対する思惑から金利が大きく変動する中で、基準価額が上下する場面がありましたが、社債市場は利回りの高い債券を求める投資家の継続的な需要に支えられ、堅調に推移したことから、基準価額は上昇しました。

投資環境

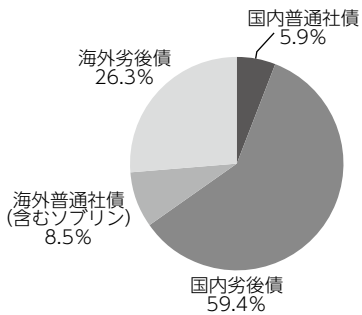
国内クレジット市場は、金融政策の正常化に対する警戒感から投資家のリスク回避姿勢が強まりスプレッドが拡大する場面や、社債発行量の多さから売り圧力もありましたが、利回りを求める投資家の旺盛な買い需要を受けて、スプレッド（利回り格差）は縮小となりました。

ポートフォリオについて

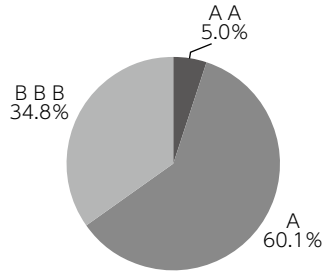
信用力を重視した銘柄選択とダウンサイドリスク（保有資産が損失を受けるリスク）を抑制する分散投資を継続しました。

【運用状況】2024年11月27日現在

○債券種類別構成比



○格付別構成比



（注１）比率は、当ファンドが組入れている有価証券に対する評価額の割合です。
（注２）格付は、格付機関（S＆P、Moody's、JCRおよびR＆I）による上位のものを採用しています。また、＋・－等の符号は省略して表示しています。

分配金

当期の収益分配金につきましては基準価額水準および市況動向等を勘案し、無分配とさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（１万口当たり）

項目	当期
	2023年11月28日 ～2024年11月27日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	169円

（注１）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注２）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第３位を四捨五入しています。

（注３）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

信用力を重視した、慎重なポートフォリオ運営を継続する方針です。

ウクライナやイスラエルを巡る地政学リスクや財政政策・金融政策の動向、金融市場全体の落ち着き度合い等を考慮しながら、財務内容が健全で投資妙味が高いと判断する銘柄を厳選して保有いたします。

■１万口当たりの費用明細

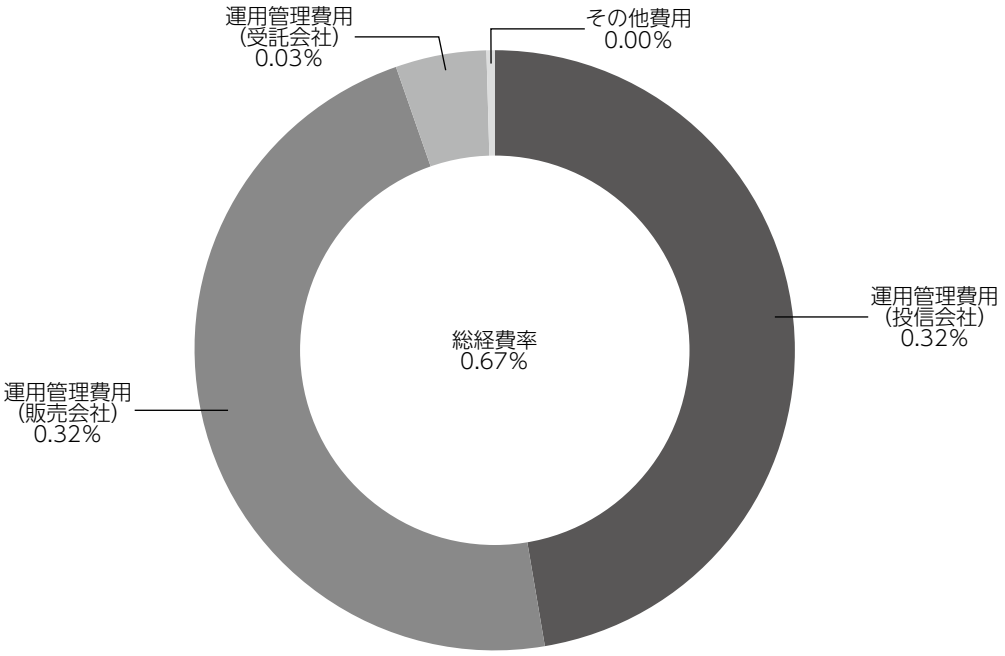
項目	第２期 (2023年11月28日～2024年11月27日)		項目の概要
	金額	比率	
(ａ) 信託報酬	67円	0.671%	(ａ) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,044円です。
(投信会社)	(32)	(0.319)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(32)	(0.319)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(3)	(0.033)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(ｂ) その他費用	0	0.003	(ｂ) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.001)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	68	0.674	

(注１) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注２) 当ファンドの信託報酬率は、約款の定めにより、以下の料率が適用されています。
・設定日～2023年９月５日（ポートフォリオ構築完了日から起算して３営業日）：年率0.539%（税抜0.49%）
・2023年９月６日～償還日：年率0.671%（税抜0.61%）
(注３) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注４) 比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.67%です。



（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注3）各比率は、年率換算した値です。
（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2023年11月28日から2024年11月27日まで）

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	社債券	－	400,516 (－)

（注１）金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
（注３）社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等（2023年11月28日から2024年11月27日まで）

(1) 期中の利害関係人との取引状況

決算期	当期					
区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	－	－	－	400	100	25.0

(2) 利害関係人の発行する有価証券等

種類	当期		
	買付額	売付額	当期末保有額
	百万円	百万円	百万円
公社債	－	－	788

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券、みずほフィナンシャルグループです。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちＢＢ格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普通社債券	11,800,000	11,697,986	98.6	－	74.4	24.2	－
合計	11,800,000	11,697,986	98.6	－	74.4	24.2	－

（注）組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第２位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
（普通社債券）	%	千円	千円	
ANZ Banking Group LTD 09/01/2027	1.5000	100,000	98,481	2027/09/01
ソシエテジェネラル 3.2% 10/20/2027	3.2000	300,000	300,183	2027/10/20
アフラック　１０／２３／２０２７	2.1080	800,000	795,062	2027/10/23
KKR GROUP FINANCE 05/25/2028	1.4280	600,000	590,615	2028/05/25
３５回　ＳＢＩホールディングス社債	1.1500	700,000	687,589	2028/06/06
11回 ロイズ・バンキング・グループ・ピーエルシー円貨社債	1.3520	400,000	399,260	2029/05/25
９回　ＢＰＣＥ　ＳＡ劣後社債	1.1000	800,000	789,160	2031/12/16
1回 HSBC HD PLC期限前償還条項付劣後円貨社債（2022）	2.5000	400,000	401,440	2032/09/15
8回 クレディ・アグリコル・エス・エー円貨社債（劣後）	2.0400	700,000	692,790	2033/06/13
１回　ＮＴＮ劣後社債	2.5000	600,000	593,100	2051/03/18
６回　ソフトバンクグループ期限前償還条項付劣後社債	4.7500	800,000	825,920	2058/04/26
１回　日本航空劣後社債	1.6000	800,000	789,168	2058/10/11
２回　パナソニック劣後社債	0.8850	800,000	772,312	2081/10/14
１７回　三菱ＵＦＪＦＧ永久劣後社債	1.8040	800,000	799,344	9999-99-99
5回 三井住友トラストHD償還条項付永久社債（劣後特約付）	1.2800	800,000	783,920	9999-99-99
１１回　三井住友ＦＧ永久劣後社債	1.8790	800,000	798,400	9999-99-99
５回　みずほフィナンシャルＧ　劣後社債	1.4400	800,000	788,720	9999-99-99
3回 野村ホールディングス永久劣後社債（任意償還条項付）	1.3000	800,000	792,520	9999-99-99
合計	－	11,800,000	11,697,986	－

（注）償還年月日が9999-99-99とあるのは、永久債（繰上償還条項付）です。

■投資信託財産の構成

2024年11月27日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	11,697,986	98.2
コール・ローン等、その他	213,574	1.8
投資信託財産総額	11,911,560	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てであります。%は、小数点第２位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年11月27日)現在

項目	当期末
(A) 資産	**11,911,560,614円**
コール・ローン等	159,225,121
公社債(評価額)	11,697,986,216
未収利息	54,349,277
(B) 負債	**47,305,556**
未払解約金	6,492,485
未払信託報酬	40,711,712
その他未払費用	101,359
(C) 純資産総額(A－B)	**11,864,255,058**
元本	11,758,754,982
次期繰越損益金	105,500,076
(D) 受益権総口数	**11,758,754,982口**
１万口当たり基準価額(C／D)	**10,090円**

(注) 期首における元本額は12,384,267,334円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は625,512,352円です。

■損益の状況

当期　自2023年11月28日　至2024年11月27日

項目	当期
(A) 配当等収益	**218,394,831円**
受取利息	217,540,796
その他収益金	861,712
支払利息	△7,677
(B) 有価証券売買損益	**80,474,475**
売買益	101,449,000
売買損	△20,974,525
(C) 信託報酬等	**△82,178,518**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**216,690,788**
(E) 前期繰越損益金	**△110,410,971**
(F) 追加信託差損益金	**△779,741**
(配当等相当額)	(△697)
(売買損益相当額)	(△779,044)
(G) 合計(D＋E＋F)	**105,500,076**
次期繰越損益金(G)	**105,500,076**
追加信託差損益金	△779,741
(配当等相当額)	(△697)
(売買損益相当額)	(△779,044)
分配準備積立金	199,429,014
繰越損益金	△93,149,197

(注１) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注２) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注３) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注４) 分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	158,346,988円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	41,082,026
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)	199,429,014
(f) １万口当たり当期分配対象額	169.60
(g) 分配金	0
(h) １万口当たり分配金	0

■分配金のお知らせ

当期の収益分配金につきましては基準価額水準および市況動向等を勘案し、無分配とさせていただきました。